



近畿運輸局 自動車交通部 旅客第一課 【事務官】令和2年12月入局

略歴

令和2年12月 近畿運輸局 自動車交通部
旅客第二課

令和4年4月 近畿運輸局 自動車交通部
旅客第一課

近畿運輸局に入局したきっかけ・理由は何ですか？

「仕事を通して何かしらの分野に詳しくなりたい」と思いながらも、一方で「色々な仕事をしてみたい」とも思いながら就職活動をしていました。運輸局の仕事は、「地域交通に関すること」という特定の分野がありつつも、その中で様々な業務内容があると感じ、興味を持ちました。その後、説明会や座談会に行った際に、職員の方の雰囲気も明るく楽しそうだと感じたため、ここで働いてみたいと思いました。

現在はどんな業務に携わっていますか。

路線バスや高速バスの申請に関する許認可業務を担当しています。

公共交通を担うバス事業者は、地域の状況が変わる中で、路線や系統、停留所等に関する計画を日々模索しています。そのような計画が、法令上適切なものかどうかを審査しています。また、バス事業者が検討している計画が、どのような方法によれば可能であるか、相談に乗るのも大きな役割の一つです。適切な申請案内や相談ができるようになるために、日々勉強しながら業務に取り組んでいます。



これまで携わった中で印象に残っている仕事を教えてください。

入局して最初に担当した介護タクシー事業に関する許認可業務です。介護タクシー事業を新しく始めようとする方は、運送業に関する申請をするのも初めてのことがほとんどなので、申請に関するお問い合わせを受けることが多いです。そんな中、初めの頃は自分の知識・経験も浅く、対応に時間がかかることも多かったです。

様々な申請処理を経て、迅速に適切に相談対応ができるようになってきた頃に、無事に許可を受けた事業者から「おかげでスムーズに申請できました」といったお声をいただいた時には、自身が培った知識・経験を役立てることができた実感があり、嬉しかったのを覚えています。

近畿運輸局の魅力って何だと思いますか？

年齢・役職関係なく話しやすい雰囲気があるところかと思います。困った時に周りの人に相談しやすく、一緒になって考えてくれるので大変励みになります。また、若手でも意見を求められ尊重される雰囲気もあるため、一人で抱えてしまうことが少ないのではないかと思います。

最後に、国家公務員を目指す受験生へ熱いメッセージをお願いします。

職場の雰囲気と仕事内容が自分に合っているかどうか、仕事を探す上で最も重要ではないかと個人的には考えています。どちらも実際に働いてみないとわからないことではありますが、様々な官庁の説明会や座談会に行って職員と話すことで、イメージが湧いてくる部分も大いにあると、自分の官庁訪問時を振り返って思います。是非色々な官庁に足を運んで、実際に雰囲気を感じてみて下さい！

